

令和7年度【2025年度】

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設名	あいのもり保育園
施設所在地	品川区大井1-16-2-2F
法人名	社会福祉法人よしみ会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

宇宙や天体について調べて、探求してみよう

<テーマの設定理由>

始めは、4歳クラスの子が天体に興味を持ち、スタッフと一緒に毎日のように天体を画用紙や色紙などを使って製作し、持ち帰ったり、園に飾ったりしていました。それを見ていた周りの子どもたちも天体に興味を持ち始め、宇宙について園にある図鑑で調べるようになってきました。子どもたちが「今」興味があることを大事にし、カリキュラムを立て、子どもたちと話し合いながら宇宙・天体について調べていこうと決めました。

### 2. 活動スケジュール

令和7年9月～令和8年1月

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<張り子>風船、糊、和紙、ライト、絵の具、宇宙の図鑑  
<プラネタリウム鑑賞>貸し切りバス、プラネタリウム貸し切り  
<宇宙を描く>画用紙、絵の具、ブラシ、模造紙、筆、天体図鑑等

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・9月～10月：図鑑を見て宇宙について知る。天体に興味を持ち、張り子で一人ひとりの天体を作る  
・11月：星座にも興味を持ち始め、プラネタリウムを観にいく。宇宙の絵を描く。大きな模造紙に宇宙を3, 4, 5歳クラスで描く。  
・1月：月の形について興味を持ち、昼間の月の観察に興味を持つ。クリスマスプレゼントに天体望遠鏡を買ってもらう子もいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 4歳の子が天体を作っていることに、周りの子も興味を持ち始めたので、図鑑を用いて、サークルタイムで宇宙や天体について話してみた。
- ・ 宇宙や天体に詳しい子が数名いて、より子どもたちの会話が盛り上がっていた。
- ・ 張り子で天体を作ってみることを提案し、張り子を作りながら、「つきにはうさぎがいる」「ブラックホールはすべてをのみこむんだよ」などと盛り上がりながら、製作を楽しんでいた。
- ・ 昨年度遠足でプラネタリウム鑑賞に行ったことを担任が子どもたちに話をすると子どもたちから行ってみたいと希望がでたため、プラネタリウム鑑賞に行くことにした。
- ・ プラネタリウム鑑賞をしながら、「そのせいざしってる」「みたことある」など、知っていることを子どもたち同士で教えあっていた。
- ・ その後4, 5歳の子どもたちが、絵の具を使って宇宙の絵を描いた。ブラシやタンポを使って、ブラックホールを図鑑を見ながら描いている子もいれば、「メルヘンなかんじにする」といって、「プリン星」というオリジナルの天体を描いている子もいた。
- ・ 大きな模造紙で4, 5歳の子どもたちで絵を描いた。3歳の子どもたちもそれを見て、参加しており、模造紙には子どもたちが一人ひとり考えた天体や星などが描かれた宇宙が広がっていた。
- ・ 月は昼間に出ていることを子ども同士で話し合い、月の観察をしようとなった。
- ・ その後は、日々のあそびの中で天体を作ったり、図鑑をみたり、過ごしている様子があった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

元々、宇宙や天体に興味を持っていた子や知っていることもあったが、一人の子から派生して、他の子どもたちも興味関心が深まっていったことに驚いた。天体の製作をしている時には、図鑑に載っている天体ではなく、自分のイメージで作っており、保育者が準備していない素材も付け加えて、製作を楽しむ様子があった。プラネタリウムを鑑賞した後に描いた宇宙の絵では、ブラシをうまく使い幻想的な作品を作り上げていた。それぞれに物語があり、ストーリーを子ども同士で伝えあいながら描いており、自分自身のイメージを絵でも言葉でも表現し、伝える力が育っていると感じた。